摂南大学における地域連携の取組について



摂南大学　寝屋川キャンパス

PICK UP

摂南大学の地域連携方針

総合大学たる本学のポテンシャルをより地域社会に開放すべく、総合的な学術的知見を前面に出し、大学をシンクタンクとして機能させ、地域が抱えるさまざまな問題の解決に貢献したいという思いから、地域総合研究所を運営しています。

大学の研究者

■ 学部・大学院・研究所

地域総合研究所

■ 主な研究内容

理学、工学、国際学、経営学、薬学、
法学、経済学、看護学、農学、社会学

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

交通、農林・水産業、防災・防犯、
都市整備、経済産業、教育、
文化・スポーツ、健康・医療、福祉、
環境、観光、水道・下水道

■ 活用例

- 公共交通のあり方支援
- スマート農業の支援
- 事前復興計画（案）の作成支援

地域との連携形態ついて

地域との連携形態

本学の教員の研究に根差し、「知の拠点」として地域の発展に貢献するという観点から、次の事業を推進しています。
また、これらを通してマッチングが発生すれば、適切な実施に向け、事務局が調整を行います。

1.「適疎戦略研究会」の運営（地域プラットフォームの確立）

2024年度末時点で近畿2府4県から34自治体が入会する他、近畿経済産業局や首都圏産業活性化協会も入会しています。自治体を繋ぐハブを目指し、人口減少、産業衰退など、各自治体が抱く課題の共有や、意見交換の場としています。

2. 自治体に対して提供可能なサポートの明確化と広報活動

上記の観点から本学教員が自治体に対して、データ分析・コンサルテーションができる分野を特定し、自治体に働きかけを行う基礎資料とするとともに、適宜ホームページなどでPRしています。

3. 会員自治体とのネットワーク強化

意欲のある会員自治体に働きかけを行い、個別連携に向け、必要に応じ首長も交え、意見交換を実施しています。

参考URL：https://www.setsunan.ac.jp/rs-collaboration/research/institute/regional/

地域との連携実績について

地域との連携実績

2022年から、本学教員が持つ学術的知見を通した地域貢献拠点として、地域総合研究所を実質化させました。
地域プラットフォーム【適疎戦略研究会】の開設以降、近畿2府4県の自治体とさまざまな連携が発生しています。

・ 過去5年の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2024年	5件	IoTを活用したミニトマト栽培（甲良町）、公共交通のあり方の検討支援（神河町）
2023年	4件	マーケティング研修（寝屋川市）、縁農ネットワーク形成（京田辺市）
2022年	4件	公共交通のあり方検討支援（甲良町）、事前復興計画(案)の作成（由良町）
2021年	1件	総合戦略に関する学術支援（由良町）
2020年	1件	総合戦略に関する学術支援（由良町）

連絡先
摂南大学 地域総合研究所 事務局
TEL：072-829-0385
Mail：SETSUNAN.Kenkyu.Shakai@josho.ac.jp